

平成19年12月議会 一般質問

質問事項

2番、帰山でございます。

議長より御許可をいただきましたので、壇上より質問を行わせていただきます。

私は、福井社会保険病院の存続について、冬期間の除雪にも対応するための道路及び水路等の整備について、教育施設及び備品の整備について、高速ブロードバンド未開通地域の対策及び地上デジタル放送切り替えについて、以上の4点についてお伺いいたします。

さて、さきの9月議会でもお伺いいたしました。再度、福井社会保険病院の存続問題についてお伺いいたします。

周知のとおり、社会保険病院の経営は、民間、もしくは独立行政法人への転換を求められております。一部では、現状で維持し、問題を先送りするような状況もあるようですが、先行きは相変わらず不透明なままです。

福井社会保険病院は、奥越地域の医療の中核を担う施設の1つであり、市民生活に欠かすことのできない施設であることは、さきの定例会で御答弁いただいておりますが、一方、今後の勝山市の存続のためには必要不可欠な施設であると考えます。県の機関である健康福祉センターが廃止されるとなれば、勝山にある奥越の地域医療のかなめの施設として、ますます重要な位置づけとなります。

勝山市として、福井社会保険病院が、今後、どの形態で存続するのがよいでしょうか。他の自治体においては、要望、意見書等を提出して、存続のための活動が活発になっているのも事実です。勝山市が買い取り、市営病院とするには、他の市立病院の現状を見ると、財政負担が余りに大きくなることが予想され、現実的とは思えません。また、独立した法人として運営していくことも、今後の医師確保等の面から厳しいと考えざるを得ません。他医療法人への売却、移管等になると、県、もしくは市のあつせん等、支援が必要と思われれます。

勝山市として、どのように存続することを望むのかをお伺いいたします。

また、そのために何らかの支援策、例えば、医師確保のために近隣市町村と連携して、医学部学生に対して相応の補助金を確保する等は考えられないでしょうか。千葉県においては、医学生に対して、6年間で3,000万円の奨学金を付与し、資格取得後、県内の自治体において7年から9年の勤務を条件として、その返済を免除する施策をとっています。2007年度におきましては、1億3,000万円程度を予算計上したようです。

県と市との違いはあります。ただし、勤務年数を7年とするならば、負担は小さくなるはずで、御考慮をお願いするところです。

次に、初雪も降り、冬将軍の到来も間近となりました。当勝山市の除雪体制につきましては、他の市町村の方々からも大変よい評価を伺っています。一方で、田畑にあまり雪を入れないでほしいという声もありますが、除雪に対応される職員、業者の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

さて、山岸市長の当定例会招集あいさつの中でも、勝山市雪害対策会議を開催し、市民生活の安全と交通体系の確保を図るため、本年度の雪害対策計画を作成した旨の発言がありました。市内においては、近年、空き家が目立つようになり、倒壊も心配される状況となってきました。市民全員の力を合わせての対応が必要とされるようです。このような中で、対応の基本となるインフラ整備についてお伺いいたします。

従来より当市においては、除雪車の充実に力を注いできており、本年度も機械の更新を進められているようです。また、歩道や狭隘な路地の除雪のために、小型の除雪車の導入も進められています。その単価を伺うと、財政上、大変な負担ではありますが、今後とも、より一層の整備をお願いいたします。

しかし、当市の一部地域において、例えば、片瀬地区、坂東島地区等において、大型除雪車による作業が難し

い地域があります。小型の除雪機の導入は、対応策ではありますが、根本的な対策とはなり得ないところです。火災、地震等、災害対策の面からも、何らかの対策が必要と考えます。今後の道路等整備計画を伺います。

また、本年度、横断歩道等において、一かき運動のためのスコップが備えつけられたようです。市内の道路の除雪に関しては、市民の方々の除雪作業への御協力に負うところがあります。市民の方の道路等の排雪においては、近くの水路へ投雪するのが一般的であると思いますが、水路に水流がない、もしくは傾斜等がほとんどなく、流れないような場所があると聞きます。また、下流域においては、川幅が狭くなり、道路に冠水する地域もあるようです。このような河川は、冬期の除雪において不便なのはもちろん、浸水等のおそれもあります。また、夏場には水が滞留するような状況となり、著しい不衛生を招くことが考えられます。

市として、状況をどの程度把握されていて、今後、どのような対応計画があるのかを伺います。

また、除雪中の水路への転落事故防止等に十分な対策を払われるよう、注意喚起すること、春になり、除雪作業のために傷んだ舗装の早急な修復についても、あわせてお願いいたします。

続きまして、教育施設及び備品整備についてお伺いいたします。

先日の全国テストにおいて、福井県の小・中学生の学力レベルは大変高いレベルであったことが報告されました。テストのあり方の是々非々はともかくとしまして、大変うれしいことです。

近年、少子化の中、耐震、アスベスト等の問題もあり、教育施設の維持管理に多大な予算を投入いただいていることは、子供を持つ親として、大変感謝するところです。

ところで、学校施設は社会教育施設として一部開放されており、活用されております。そのような中、先日の地区運動会におきまして、南部中学校を使用した猪野瀬地区のみが、グラウンドの排水が悪く、屋内開催となりました。同校のグラウンドは、開校以来、改修されたことがなく、降雨後は長く水が引かない状況です。また、晴天が続くと、フィールド部及びトラックの一部が砂地状態となるようです。4、5年前までの周辺部の草のひどい状況からは、保護者、先生方の尽力、市の除草作業等により相当に改善はされてきましたが、周辺部には相変わらず藻が生えて、土壌が黒ずんでいる状況です。表土入れ替え等の対策が必要ではないでしょうか。周囲のフェンス、ネット等も良好な状況ではありません。

また、成器南小学校では、道路改修により100メートル走路を確保することが大変厳しい状況です。教育施設ではありませんが、弁天グラウンドに芝を張ってほしい等の要望も聞きます。

従来、グラウンドは、順を追って整備が進められてきたようであり、本年度は長山グラウンドが整備されておりますが、今後の整備計画をお伺いいたします。

また、体育館内備品等につきましても、社会教育等に使用されるため使用頻度が高く、消耗の激しい備品があります。さらには、他市町村ではよく見かけますが、グラウンド整備用のトラクター等も台数が少ないようです。良好な状況に保つためには、ある程度の台数整備が必要と思われる。備品修理及び充実などの整備計画についてのお考えをお伺いいたします。

最後に、情報格差の解消についてお伺いいたします。

近年、光ファイバー網の整備が進み、インターネットはあらゆる分野で使用されるようになってまいりました。勝山市においても展開が進み、相当の地域で利用可能となりました。ところが、89局等においては、NTT側の交換機の性能上、光ファイバーの展開が計画されていない地域があります。該当地域は交換局より3キロメートル以上離れており、技術的制約のため、ADSLの導入をしても快適な環境を構築困難な地域でもあります。

最近では、高校、大学等において、情報の収集、課題の提出等がWebにおいて行われるようになり、個人としてショッピング、ブログ等を楽しむ方もふえてきています。当勝山市においても、当月からはWeb上から例規集の閲覧が可能となり、従来からは、施設予約をはじめ、いくつかの申請などが可能となっています。総務省からも、

格差解消について努力を求められていると思います。

今後の勝山市としての整備計画対策をお伺いいたします。

次に、本年より勝山市においても、地上デジタル放送が受信可能となりました。この放送は、映りも大変きれいで、付帯するデータ放送による情報も大変便利なものです。過去においては、UHF帯の増波がありましたが、当時はカラーテレビの普及が一気に進んだと記憶しております。しかしながら、当時は既存のVHF放送がなくなることはありませんでした。今回は、2011年にはアナログ放送が停止されるため、既存ハードウェアのままでは一切の放送が見られなくなります。このような状況の中で、地上デジタル放送を、地域の特性上、受信できない地域も発生するようです。

先日、このような地域のためには、衛星デジタル放送を利用して猶予期間を設定するような報道もありましたが、最終的には地上デジタル放送の受信が必要なようです。今後の方針をお伺いいたします。

また、デジタル放送受信のためには、テレビの買い換え、地上デジタル放送チューナーの設置等、何らかの投資が必要となります。小さいといってもお金のかかることですし、対応されない方も出るかもしれません。緊急災害放送も始まり、その公共性を考える上で、何らかの補助金等、対策を考えられないかをお伺いするところです。

以上をもちまして、壇上よりの質問を終わらせていただきます。

回 答

山岸正裕市長

福井社会保険病院の存続についてお答えをいたします。

福井社会保険病院は、国、社会保険庁が設置をいたしまして、経営は民間公益法人であります。社団法人全国社会保険協会連合会に委託する形態、いわゆる公設民営化の努力によりまして、この奥越地域にあって黒字基調で推移をいたしております。

福井社会保険病院は、奥越における唯一の総合病院として地域医療に貢献し、2次救急医療体制の指定病院として大変重要な役割を担っております。平成11年には、近年の社会情勢に対応するため、高度な先端医療機器の整備や、介護老人保健施設を併設するなどの整備を図り、新築移転したところであります。

今日まで、このように運営をなされているのは、国をはじめ県においても、この奥越地域に中核となる医療機関としての必要性が認められたことによるものでありまして、今後とも、奥越の地域住民にとって、安全・安心を確保するためには欠くことのできない施設であることは疑う余地もなく、私は地元市長として、その存続に全力をあげて取り組む所存であります。

福井社会保険病院の経営母体であります社会保険庁が廃止された後の平成20年10月からの体制につきましては、国は検討を重ねておりまして、その運営主体を独立行政法人年金・健康保健福祉施設整理機構、この略称はRFOといいますが、それにおいて存続していく方向性にあるようにお聞きをいたしております。しかしながら、53の社会保険病院のすべてが無条件に存続されるものではなくて、次の評価分類によって、その後の運営対応が変わってくるようであります。1番目に、経営状態がよい、2番目に、経営は悪いが地域医療には不可欠、3番目は、それ以外と、この3つに分類をされまして、RFOに運営させるのは1番と2番のようであります。福井社会保険病院に関しましても、今申し上げた1番、または、2番に評価されて、この運営方式に移行されるように、関係機関等とも情報・連絡を密にして、奥越地域としての広域的観点からも、存続に向けて努力をいたします。

次に、医師の確保に関してであります。このことにつきましては、国においても、医学部の定員を増加するなど

の方針を立てているようですが、単なる増員ではなく、地域に根づく形での条件を付しております。この問題は全国的なことでありまして、地方格差是正の最大のターゲットともいべき問題点であり、国に対しましては、全国市長会を通じて要請しております。今後も、国の政策対応を注視しながら、強く要請してまいります。

また、県に対しまして、県内自治体の声を集約して、国に対して強力にアピールするよう、要請していく所存であります。

上田秋光建設部長

冬期間の除雪にも対応するための道路及び水路等の整備についてお答えいたします。

これまで勝山市は、三八豪雪、五六豪雪や、記憶に新しい一八豪雪に見舞われてきましたが、すべて地域住民による協力によって克服してまいりました。豪雪地域である勝山市では、住民の協力体制が最大の克雪対策であると、これまで実感してきたところです。

御質問の、火災や地震等の災害対策を含めた、狭い道路の除雪の根本的解決方法としては、道路の拡幅や水路の改良がありますが、これは、用地や事業費の確保で難しいところもあります。しかし、一部分を直すことで除雪車が通れる箇所もありますし、雪の置き場等の確保に協力していただくことでも、かなり除雪ができる箇所があります。

今後、地元の御協力をいただく中で、対策に取り組みたいと考えております。また、今年度に、河川水を利用した簡易的な融雪も実施し、効果があるか、調査検証し、有効であれば、来年度から設置箇所を拡大していきたいと考えております。

次に、現在の市街地への水路経路や水量については、国土交通省所管の河川から取り入れておりまして、特に防災上や冬場の流雪溝、農繁期への安定した水量を確保するため、今年度と来年度にかけて調査し、国土交通省に必要水量を申請することとしております。水路の不都合な箇所につきましては、市でも把握できないところもございますので、担当課へ御連絡いただきたいと思います。

除雪作業中の転落事故防止などの呼びかけにつきましては、先月末の「除雪についてのお願い」のチラシを全戸配布するなどの呼びかけをしておりますが、今後も啓発してまいります。

また、除雪による道路破損につきましては、道路パトロールを順次実施し、危険な箇所を見つけ次第、早急な道路補修をしてまいります。

杼木実教育部長

教育施設及び備品の整備についてお答えをいたします。

学校施設の維持管理につきましては、耐震化をはじめとする財政需要の高まりが大きな課題となっております。

御質問のありました学校グラウンドの整備につきましても、多額の経費が見込まれることから、可能な限り国等の補助を受ける必要がありますが、整備を要するグラウンドの不具合は個々に異なる状況にあるため、今後、暗渠排水、表面排水及び表面舗装等を一体で整備することとしている補助採択要件に合致するのかなどの確認等を行うとともに、グラウンドの状況や補助の適否などを十分検討した上で、整備方針を立てて対応してまいります。

御質問の、南部中学校グラウンドは、南北両側の水はけが悪いため、部分的な改修が想定がされますが、先ほど申し上げました補助の適否や、未改修部分との将来的な段差が生じる問題など、検討を要する課題があり、改修に向けて調査検討してまいります。

また、成器南小学校の100メートル走路についてでございますが、通学路でもある市道の拡張時に100メートルコースが南側に約1メートル移動した分、ゴール地点以降の距離が短くなっております。現地の状況は確認して

おりますので、今後、学校関係者とも十分協議し、対応してまいります。

次に、社会教育の備品の整備計画についてでございますが、社会教育の一環として、各小・中学校体育館の開放を行っており、消耗品や備品につきましては、毎年、調査を行い、計画的に更新をしております。

また、議員御指摘のとおり、グラウンドを良好な状態に保つには、年に数回の手入れが必要でございます。現在は、グラウンド整備用のトラクターは長山グラウンドに1台、整備されており、小・中学校のグラウンド整備にも利用していただいております。台数が少ないとのことでございますが、すべての施設に整備用のトラクターを整備することは、不経済になることや、グラウンド整備には専門知識と技術が伴いますので、グラウンド状況に応じて、専門業者への委託も含めて研究をしております。

松村誠一総務部長

次に、勝山市の高速ブロードバンド未開通地域の対策についてお答えいたします。

勝山市においては平成16年度に、光ファイバーを使用した高速インターネットサービス利用希望についてのアンケートを、市内全戸を対象に実施した結果、市民の高い要望を受け、その結果をNTT西日本へ要望し、市内局番88局と87局エリアに光ファイバーによる高速インターネットサービスが開通いたしました。しかしながら、NTTは、採算性の面から、89局及び83局のエリア、いわゆる鹿谷町、荒土町、北郷町、北谷町については、光ファイバーの敷設を見送りました。今年度当初におきましても、正式にNTTに対し、これらの地域の開通を要望いたしましたが、同様の結果となっております。

そこで、本市といたしましては、同一市内において、情報通信の面で格差が生じている現状を解消するための方策を模索し、これらの地域に整備する必要な設備を、国の補助を受けて勝山市の施設として整備するのか、あるいは、経費支援を行い、あくまで通信事業者の敷設とするのか、また、多額の経費負担をどう財政計画に落とし込んでいくのかなど、クリアすべき課題が多くあるのが事実でございます。

しかしながら、地域的な情報格差解消のため、できる限り早く実現できるよう、今後も精力的に検討してまいり所存でございます。

次に、地上デジタル放送への移行により発生する新たな難視聴地域への対策についてお答えいたします。

議員御指摘のとおり、地上デジタル放送では、勝山市内においても新たな難視聴地域が発生いたします。既に本市に対しまして要望をあげてこられた地区もございますが、勝山市内全域で、どこが新たな難視聴地域になるのか、現在のところ、すべて把握するには至っておりません。

そこで、総務省が本年9月に発表した全国の地上デジタル放送受信状況に関するロードマップが1つの目安となりますので、この中から、対象となりそうな市内地域を特定し、現在、NHKと民放2社に調査依頼をかけております。その結果を踏まえて、今後の対策を検討していきたいと考えております。

なお、本来、この対策は国が行うべきものであり、難視聴対策地域への具体的な対策は、総務省が平成20年度に方針を発表する予定と伺っております。

ただし、当然、市としての負担も求められるはずですので、国の方針決定を待って、具体的な対策を講じたいと考えます。

最後に、地上デジタル放送チューナーの購入に関する補助等の御質問ですが、地上デジタル放送を視聴するための地上デジタル対応のテレビを購入するか、未対応のテレビは、地上デジタル放送チューナーを購入する必要があります。テレビよりチューナーを購入したほうが安価ではありますが、現状では、最低でも1万5,000円前後の値段となっているようです。総務省はメーカーに対し、5,000円台で買えるチューナーを製造するよう求めておりますけれども、現在のところ、メーカー側は対応する姿勢を見せておりません。

生活保護世帯やひとり暮らしのお年寄りなど、低所得の方々にとって、チューナー購入が困難な場合、地上デジタル放送への完全移行が終了いたしますと、全くテレビが見られない世帯が発生することも想定されます。国は、この件に関して、個人負担が原則という姿勢を崩しておりませんので、本市といたしましては、他市の状況を勘案しながら、今後、補助のあり方について検討してまいりたいと考えます。

2番 帰山寿憲

大変御丁寧な御回答をありがとうございました。

時間が許すようですので、若干、御要望申し上げまして、再質問にかえさせていただきます。

福井社会保険病院につきましては、政府の方針が不透明な中では、大変御苦勞とは思いますが、いかなる体系の中でも、その施設としての重要性にかかわるところはありません。勝山市、市議会はもちろん、市民全体の熱意が存続につながっていくものと考えます。今後とも、よりよい形での存続に向けての活動を要望いたします。

道路、水路等のインフラ整備につきましては、除雪のためには言うまでもなく、他の自然災害、火災対応の面からも、十分な充実が必要と考えます。ひいては居住環境の整備となり、地域の資産として、観光客の誘致、子供たちの安全環境の確保などにつながるものと考えます。道路、水路だけではなく、一部道路の未設置のガードレール整備、街路樹等の整備充実に対しても、積極的な対応をお願いするところです。

教育施設の改善につきましては、ただいま、大変前向きな御回答をいただきまして、ありがとうございます。

教育環境の充実は、勝山市の未来のためには重要な柱の1つと考えます。学校教育の差別化が始まり、学校競争が始まった中で、教育環境を充実させる、また、特色を持った教育環境を提言し、提示できるとすれば、勝山市が生き残り、発展するための手段としても活用できる可能性を秘めています。

保護者の教育費負担は大きいものがあります。しかし、その中でも、あえてそれを受け入れ、わが子によりよい教育を望む方もおられます。岐阜県にできました大手自動車会社の経営する学校は、授業料は大変高価です。ただし、応募者は全国から大変多数集まり、非常に入学が難しい学校になっていると伺っております。公立高校としては、選択できる必要はあるとは思いますが、特色があり、前向きであれば、それなりに期待のできる学校というものはつくり上げることは可能かと考えます。今後とも、充実をよろしく願いいたします。

また、少子化、少人数のために縮小されつつある中学校のクラブ活動、小学校のスポーツ少年団活動に対しましても、勝山市全体でのクラブ設置支援体制の確立をお願いしたいと思っております。

最後に、情報格差が広がる中、安全確保の点からも、取り残される地域ができるのは防がなければなりません。情報量がふえることは、必ずしもよい面ばかりをもたらすものではありませんが、そのシステムが生活環境に必要不可欠なものとなりつつある現在では、何としても整備が必要と考えます。

ブロードバンド環境については、早急な整備、地上デジタル放送につきましては、2011年のアナログ放送終了時におきまして、難視聴地域、または、未受信の家庭がないように対策されることを要望いたしまして、質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。